

市村光惠 みつむつ 憲法學者、法學博士。明治八年八月五日高知縣生れ、
昭和二年九月二十七日歿（八七五—九一六）。東京帝國大學卒。歐洲留學
後京都帝國大教授。昭和二年京都市長に就任し二月で辭職。天皇主權
說論者にありたが、ゆゑ天皇機關說を主張した。

著譯書に『獨逸研究』（合著・教育學術研究會編、大正四年十一月）
十四回同文館雜誌部）、シヤン、シヤツク、ルソー著『民約論』（一名
政權原論）』（森口繁治共譯並評註、大正九年十月二十日有斐閣）、

『最近の獨逸研究』（合著・表現社編、大正十一年一月十八日）（松堂
書店）等。